

文教厚生常任委員会会議録

平成 26 年 12 月 4 日

高 森 町 議 会

文教厚生常任委員会記録

平成26年12月4日

開会 午後2時30分

-----○-----

○委員長（後藤三治君） 皆さんこんにちは。非常に寒い中、また12月定例会前の大事なときに、休会中でもありますけれども文教厚生常任委員会を急きょ開くことになりました。皆さん方には大変ご迷惑をおかけしますが、ただいまから定足数に達しましたので文教厚生常任委員会を開会します。

これから本日の会議を開きます。よろしくお願いいたします。

-----○-----

○委員長（後藤三治君） 本日の審議事項でございますが、私は去る11月25日に委員長の辞任願いを副委員長に提出いたしました。これにより、私に関することでもありますので、これからさきは副委員長に委員長の職務を交代いたしたいと思いますが、よろしいでしょうか。

[「はい」と呼ぶ者あり]

○委員長（後藤三治君） それでは副委員長よろしくお願いいたします。

○副委員長（宇藤康博君） こんにちは。それではしばらくの間、職務代行をさせていただきます。

-----○-----

○副委員長（宇藤康博君） 日程第1、委員長辞任の件を議題とします。

まず、事務局長より辞任願いを朗読させます。よろしくお願いいたします。

○議会事務局長（佐藤幸一君） 平成26年11月25日。文教厚生常任副委員長宇藤康博様。文教厚生常任委員長 後藤三治。

委員長の辞任願いについて。

私、一身上の都合により辞任いたしますので、許可くださいますようお願いいたします。

以上です。

○副委員長（宇藤康博君） 委員長は、委員会規則第16条の規定により除斥となります。その前に、一身上の都合とありますが、辞任の件について詳しく説明していただければと思います。よろしくお願いいたします。

○委員長（後藤三治君） もう皆様もご承知のとおり、私が9月議会で一般質問をしました。そのことにつきましては、議会全員の皆様に多大なご迷惑をおかけをし、議会としての回答書も提出いただきまして、そのあと議会報告会でも当人がおいで

になりましてあの席でいろいろとご意見を言われましたけれども、その後、私に対して、あの公開質問状の中にもありましたが法的手段も辞さないということでしたけれども、今のところそういったお話もあっておりません。

そういった中で、このまま私が委員長を続けていっても、やはり非常に緊急課題等も山積している中でそちらのほうの対応も考えなくちゃいけないし、あわせて重責であります文教厚生常任委員長としていいのかと十分にいろいろ言い聞かせましたところ、やはりここは何度も皆様にお話ししておりますように、一議員としてしばらくの間お許しをいただければ勉強をさせていただきたいなということのですね、副委員長に対しまして委員長辞職の辞任を申し出た次第でございます。ほかに何もございません。どうかよろしく願います。

○副委員長（宇藤康博君） これから委員長辞任の件について始めます。

ありがとうございました。委員長、退室をお願いいたします。

[委員長 退室]

○副委員長（宇藤康博君） これから委員長辞任の件についてご発言ありませんか。

○委員（三森義高君） もう辞任についてはありません。

○副委員長（宇藤康博君） ほかに発言はありますか。

[「ありません」と呼ぶ者あり]

○副委員長（宇藤康博君） それでは、本件については後藤三治さんの委員長の辞任を許可することにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○副委員長（宇藤康博君） 異議なしと認め、後藤三治さんの委員長の辞任を許可することに決定をいたしました。

後藤三治さんの入室を許可いたします。

[後藤三治さん 入室]

○副委員長（宇藤康博君） それでは、後藤三治さんに申し上げます。

委員長の辞任については許可されましたので、告知いたします。

後藤三治さん、何か発言があればお願いします。

○委員（後藤三治君） 何もありません。

-----○-----

○副委員長（宇藤康博君） ただいま委員長が欠けております。お諮りします。日程に追加し、委員会を進めたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○副委員長（宇藤康博君） 異議なしと認めます。

-----○-----

○副委員長（宇藤康博君） 追加日程第1、委員長の互選を行います。

委員会条例第8条第2項の規定により、互選によるとなっています。どなたかご推薦される方はいらっしゃいませんか。

○委員（三森義高君） 結果的には委員長、副委員長という肩書きがあります。そこで委員長が辞任という形になりますと、当然副委員長が下にあります。その副委員長を委員長という形に入ることを、まずさきに望みます。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○副委員長（宇藤康博君） 私を委員長に決定したいと思います、ご異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○副委員長（宇藤康博君） 異議なしと認め、私が委員長になることに決定いたしました。

いろいろとですね後藤三治さんの、今まで当選からですね委員長もされてきていて、私もすばらしい委員長さんだと思ってですね、私も副委員長としてはいろいろとできなかったことが多かったわけですが、委員長というこの重責というものは大変重く、今感じております。また、私もまだまだ一期目で本当に力が足りませんが皆様方のご協力をよろしくお願いいたしまして、また一所懸命頑張りたいと思いますのでよろしくお願いいたします。

[拍手]

○委員長（宇藤康博君） ありがとうございます。これで職務代行を解かせていただきます。

-----○-----

○委員長（宇藤康博君） それでは、委員会を引き続きまして進めてまいりたいと思います。

ただいま副委員長が欠けております。お諮りします。日程に追加し、委員会を進めたいと思いますが、これにご異議ございませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○委員長（宇藤康博君） 異議なしと認めます。

-----○-----

○委員長（宇藤康博君） 追加日程第2、副委員長の互選についてを行います。

委員会条例第8条第2項の規定により、互選によるとなっています。どなたかご推薦される方はいらっしゃいませんか。

○委員（三森義高君） まず、あと6カ月余り、任期がですね。どうしてもつくったがいいということであれば名前は出さないかと思いますが、不在のままでもいい

という考え方もあります。それをまず審議してください。あえて言いますならば、局長のほうにお伺いいたします。副委員長も当然、いたらいいという考えですか。

○**議会事務局長（佐藤幸一君）** 今、三森委員の、委員会条例の8条の2項にはですね委員長、副委員長は委員会において互選すると。まず委員長、副委員長を1人置くというふうになっています、それぞれ。ですから、どうしてもですねやはり副委員長ということでもですね一応互選をしていただいで決定していただきたいと思ひます。

○**委員（三森義高君）** はい、わかりました。

それでは、立山議員にですね。

○**委員（立山広滋君）** 私はできません。それは総務常任委員長もしていますので、宇藤康博君が初めて1年生議員で委員長になるというからには、副委員長は三森委員か甲斐正一委員が私はいいと思ひます。私はできません。

○**委員（三森義高君）** どうしてもということであれば、甲斐委員のほうにお願いいたしたいと思ひますが、どうでしょうか。反対意見はありますか。

○**委員（立山広滋君）** なら正一委員に。支えてやってください。たいがい重かかんしれんばってん。

○**委員（甲斐正一君）** はい、よろしくお願ひします。

○**委員長（宇藤康博君）** じゃあ甲斐委員を副委員長のほうに決定したいと思ひますが、ご異議ございませぬか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○**委員長（宇藤康博君）** 異議なしと認め、甲斐委員を副委員長に決定いたしました。

それでは甲斐副委員長、ごあいさつをお願ひいたします。

○**副委員長（甲斐正一君）** ただいま副委員長ということで重荷を感じております。本当に身近な委員会でございますので、残すところ5カ月ではございます。精いっぱいやっていきたいというふうに思っておりますので、どうか皆様方、委員会をご指導、ご鞭撻をよろしくお願ひいたします。

[拍手]

○**委員長（宇藤康博君）** ありがとうございます。

以上で、本日の日程は全部修了いたしました。これで文教厚生常任委員会を閉会します。お疲れさまでございました。

-----○-----

閉会 午後2時43分